

ほっこり！にこにこ！ (@^0^@)

つどい場みち



第3号

発行：平成24年10月23日
住所：尼崎市戸ノ内町2-4-11
電話：06-6498-3350

極楽の世にいきたいねえ。

NPO法人 つどい場みち
理事長 浦田 美智子

毎朝の体操中にお話が弾むときがあります。しばし体操を中断して話し込むのですが、先日こんなひとコマがありました。

「私はこの3年間に3回も死にかけたんですよ。救急車で搬送されてもうあかんとと言われて・・・。今でもようあの時命を助けてもらったなあと思います。その時のことですが、あれは一週間ほど死をさまようてた時ですが、めちゃくちゃ綺麗なお花畑が見えて誰かが手を差し伸べておいでおいでと招くの。でも下のほうで、まだ早い言うて引っ張るの。何とも言えんきれいなとこやったんです！！」と・・・。「あの世に行きかけてたんやねえ。」と・・・。

またある日には別の方が、「私も見たの。やっぱり死にかけていたときなんですけど、夢だかなんだか・・・。とってもきれいなお花がいっぱい咲いていて、ベッドに寝てる私のまわりをお友達がたくさん囲んでくれてました。そして口々にありがとう、ありがとうっていつてくださるの。」

「そんな夢みたことない！！」「本当にそんなきれいなところが待っててくれるのかしら」、「極楽の世だよねえ。行きたいねえ！！」と皆で話しが盛り上がりました。

すると一人の方が、「私はそんなとこにいけるかしら。地獄かもわからない・・・」と。

そのあと、みんなで、「やっぱりもっともっと出来ることは自分でして、感謝して暮らさなあかんなあ。極楽にいけるように・・・。お迎えが来るまで元気でおりたいですねえ！！・・・」と。

再び体操が始まりました。

ここに集う皆さんのお幸せを心から願いながら“人生に一度必ず迎える死”についてご一緒に話すこともある私達です。

宿泊サービスを提供しています！ **1泊2食付 2500円**
(月曜日～金曜日)

介護保険外サービスとして、宿泊サービスを行っています。

こんな方にご利用いただいております。

旅行や帰省など、ご家庭の様々なご都合により、緊急時の対応に
介護保険の単位が足りない方に
入院されていた方の退院後のケアのために

こんなときはどうしたらいいかなあと思われるとき、気軽に声をかけてくださいね。

敬老会にお誕生日会

9月17日(月)は 敬老会、兼9月のお誕生日会でした。午前中はいつも通りPTによるリハビリに加えてスタッフによるリハビリ体操、らくしゅう式脳機能訓練を一生懸命に頑張った皆様には…お刺身に天麩羅にお赤飯…皆さん口々に、「おいしいわー！ご馳走ですわ♪」



お腹もいっぱいになったら、今月お誕生日の方のためにみんなでケーキを作りましょう♪



自分も誕生日やけど自ら皆と一緒につくるでえ！

ケーキが出来上がったら、ハッピーバースデイ♪の歌と共にプレゼントを貰ってハイチーズ！



瀬古さん、寺井さん、お誕生日おめでとうございます！ますますお元気に♪

さてさて、続いては・・・マジシャンの登場ですよ～

ノッポさーん！

10月15日(月)は10月のお誕生日会♪



は～い！東京スカイツリーからやってきたマジシャンのノッポです♪



中川さん、三宅さん、お誕生日おめでと～♪手作りプレゼントもどうぞ！



つどい場みち川西も元気です！！

つどい場みち 川西管理者、浦田克弘です。

9月から、Yさんが週に一度、来てくださるようになりました。このYさん、初めてお会いした時は声も小さく、表情の変化もあまり無かったのですが、2回、3回と来られる度に、声が大きくなり、表情がどんどん明るくなられ、3回目の帰りの車中で、“何かをやろう、という気になってきました”という、嬉しいお言葉を頂きました！

“4月までは自分で買い物に行けたのに行けなくなった、毎夜の配食のお弁当はあまりおいしくない。川西阪急や西友に買い物に行って、お肉が食べたい！お刺身が食べたい！とずっと思っていました。まだ不安はあるものの、もう叶えられました！”・・・と。

どんどん明るく元気になられていくYさんに、私も元気を頂いています。Yさんはお医者様から「もう、うつ病も8割方治ったね」と診断されています、これも嬉しいニュースです。

10月からは、AさんとEさんも来ていただけるようになり、皆で笑いながらリハビリ体操や脳機能訓練を行ったり、お話が弾んだり、歌を歌ったりと、本当に楽しく過ごしています。

人は笑ったり、楽しく話をしなければ、心も体も病気になります。まだ始まったばかりですが、職員と利用者の方々全員で気持ちよく過ごせる空間、時間を作っていきたいと思っています。



♪ こんなスタッフで頑張ってまーす ♪ のコーナー NO. 1

居宅介護支援事業者 つどい場みち 管理者 吉岡 紀彦



「利用者様の笑顔や元気に、いつも励まされ…」

最近、やっどつどい場みちデイサービスも、地域ケアの歯車のツールの一つとして、利用していただけるようになり、大変嬉しく感じています。

ケアマネとして利用者様のニーズに応え、喜んでいただけるサービスを提供する立場でありながら、逆に利用者様の笑顔や元気に励まされながら業務に勤める日々を送っています。

そんな私ですが、実は畑違いの職種から30代にしてこの介護業界に足を踏み入れました。

バブル期に職に付き、一人暮らしを始め、モノづくりに対価を得、収入的にも安定しておりそれなりに満足を得ていたのですが、不景気を期になんとなく、といった軽い気持ちから退職、軽い気持ちでヘルパーの資格を取得、実習先の病院に誘われ軽い気持ちで就職したことがこの職種についたきっかけでした。そこで得るものは新鮮でこれまでの人生で初めてのことが多く、自然に溶け込み興味を沸かたせることができ、これまでものづくりの関心から人の体・健康・心に興味を持つようになりました。

この世界に従事して12年。多様な出来事や経験、戸惑いや挫折を経て、現場の仕事に加えて営業、管理をする立場にも付かせて頂きました。現場のみでは得られない任務の深さに今改めてまだまだ駆け出しであるという思いもあります。しかし、利用者様の笑顔や元気にいつも励まされながら、確かに人のお役に立てている、またそれを原動力として自身がやりがいを感じているという実感も強く感じております。今日に至るまでの全てのご縁に感謝している次第です。

つどい場みちでは、脳のリハビリとして
「らくしゅう式 機能訓練」に取り組んでいます。

●脳科学の裏付け&確かな改善実績がある脳機能訓練

こ数年の脳の研究で、ワーキングメモリを鍛えることが、アルツハイマー型と脳血管性型の両方の認知症の改善や予防に関係するということが分かり始めています。

このワーキングメモリを鍛える訓練として、本年1月にNHKの人気情報番組「あさいチ」の特集で、「ワーキングメモリ」を鍛える最先端の「脳の機能訓練」として、「らくしゅう式 機能訓練®」が紹介されました。

●多種多様なプログラム&体系的な運営方法で「全員参加型、選べる！脳機能訓練」を実現。

多種多様なプログラムを随所に少しずつ配置。デイで1日過ごす中で利用者は意識しないうちに脳機能の改善がはかれます。



あさいチ

特集で紹介されました！

テーマ：「物忘れよ さようなら」 (NHK総合 2012/1/16 8時15分～放送)

<指導・推薦の先生>

諏訪東京理科大学
篠原菊紀教授(脳システム論)

東京大学大学院教育学研究科修了
著書「ボケない脳をつくる」(集英社)
ほか多数。TV「ためしてガッテン」



実際に経験した皆様の頭の中には……、嵐が吹き荒れる～!!!



「けっこう難しいよ～！」 「ん？もう一回！」



「みんなでやって集中力を高めましょ～♪」